

編集後記

2019 年末の中国武漢市に端を発する新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が急速に拡大し、わが国でも緊急事態宣言が発令されるなど、これまで経験したことのない活動の制限が広範囲に及んでいます。このコロナ禍で多くの研究活動が制限される中、保健医療学雑誌の今号にはこれまでに最多となる論文や総説等、計 13 本が掲載される運びとなりました。これは、現在の厳しい状況下において、保健医療に関する研究が必要とされ、発展を続けていることを指し示す事象だと、私は捉えています。

今後当面の間は、特にヒトを対象とした研究活動に様々な制限が生じることが想定されますが、今号に掲載される論文による知見を今後の研究活動にご活用いただき、保健医療学のさらなる発展にご協力いただきますようお願いいたします。

2020 年 10 月 1 日
保健医療学雑誌 副編集委員長
岩田 晃 (大阪府立大学)